SAISON TECHNOLOGY

SAISON Technology

Data Integration Solution

総合カタログ

Saison Technology Co., Ltd.

目次

会社

p. 3 会社紹介

p. 4 サービス全体像

p. 6 データインテグレーションサービス

製品

選び方

p. 10 選定マップ

p. 11 自己診断チェックリスト

p. 12 製品ラインナップ（早見表）

製品情報

p. 13 HULFT Square

p. 15 Agent Orchestration

p. 16 HULFT10

p. 18 DataSpider Servista

p. 20 DataMagic

p. 21 HULFT-WebConnect

p. 22 HULFT DataCatalog

p. 23 HULFT-HUB

選ばれる理由・実績・事例

p. 24 選ばれる理由・実績・サポート

p. 26 導入事例

p. 28 会社概要・お問い合わせ

データとシステムをつなぎ、AI活用を支えるデータインテグレーター

株式会社セゾンテクノロジーは、企業のデータとシステムをつなぎ、その先のデータ活用・AI活用までを支えるデータインテグレーターです。SaaSやクラウドの広がりで、社内外のデータはこれまで以上に分散しています。私たちはその分断をつなぐところから支え、必要なデータが必要なときに使える状態をつくります。長年にわたり企業間・システム間のデータ連携を担ってきた実績を土台に、AI時代の「つなぐパートナー」として伴走します。

評価

ファイル連携ツール 国内シェア

23年連続 No.1※

実績

世界での導入社数

12,000 社以上

※2026年3月時点

信頼

DX銘柄企業での導入率

77.8 %

（2020年～2026年のDXプラチナ、DX銘柄企業　当社調べ）

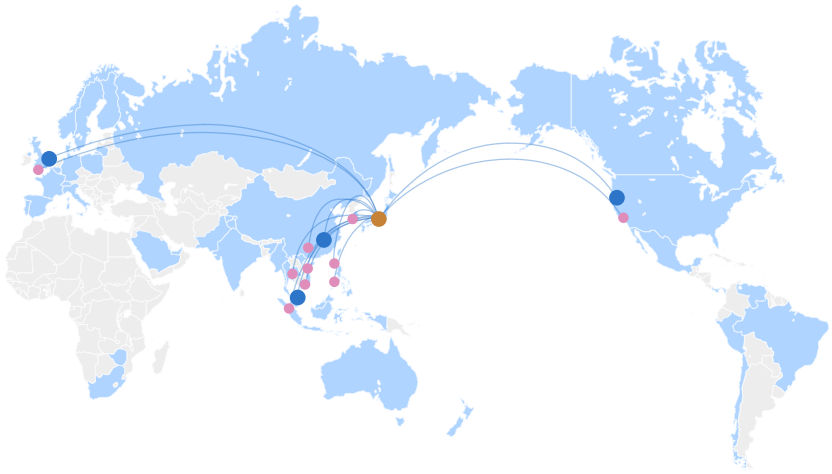
グローバル対応

HULFTユーザーの所在国

46ヵ国

※2026年時点

※株式会社富士キメラ総研「2004-2010パッケージソリューション・マーケティング便覧」「ソフトウェアビジネス新市場2011-2026年版」
＜ファイル転送ツール パッケージ・金額ベース・ベンダーシェア＞2003年度実績～2025年度実績（2023年度実績より現社名）



導入実績

ヨーロッパ	16ヵ国
北米／南米	8ヵ国
中東／アフリカ	5ヵ国
オセアニア	3ヵ国
東アジア	5ヵ国
東南アジア／西アジア	9ヵ国

● セゾンテクノロジー海外拠点：4拠点　● HULFT販売代理店：30拠点　■ HULFTユーザー所在国：46ヵ国　※2026年時点

フロンティアAI時代のデータ連携



データ連携・システム統合の
インテグレーターとして30年以上

金融・保険・製造・小売など多業種で、12,000社以上が導入するHULFTを軸に、企業の成長に欠かせない「データ活用」の基盤を構築します。SaaS・クラウドの広がりで社内外に分散したデータを、必要なときに必要な形で使える状態にします。その道筋を、次の3段階で描きます。

データ連携フロー

現状

分断

SaaS・クラウドの広がりで、データとシステムは社内外に分散しています。

STEP 01

つなぐ

システム間・SaaS・拠点・ファイルをデータ連携でつなぎ、流れる状態にします。

STEP 02

生かす

つないだデータを整理・可視化し、分析・活用の基盤に育てます。

STEP 03

AI

必要なデータがそろい、生成AIがすぐ使える状態になります。

企業の成長に欠かせない「データ活用」の基盤を構築

レガシーからSaaS・クラウド、オンプレミスまで、システム環境も課題も企業ごとに違います。
セゾンテクノロジーは、伴走する「データインテグレーション（サービス）」と、道具となる「プロダクト（HULFTシリーズ）」の二本柱で、データ活用の基盤づくりを支えます。

SERVICE

データインテグレーション

レガシー、SaaS、クラウド、オンプレミス、あらゆるシステム環境や課題に対応したソリューションで、データ活用の基盤を整えます。コンサルティングから連携基盤の構築・運用、内製化の支援まで、専門のエンジニアが伴走します。

主なメニュー

- AI活用サービス
- データ連携基盤構築
- データ活用基盤構築
- 基幹システム／ERP連携基盤
- SaaS連携基盤
- ファイル連携基盤
- データ連携内製化支援

PRODUCT

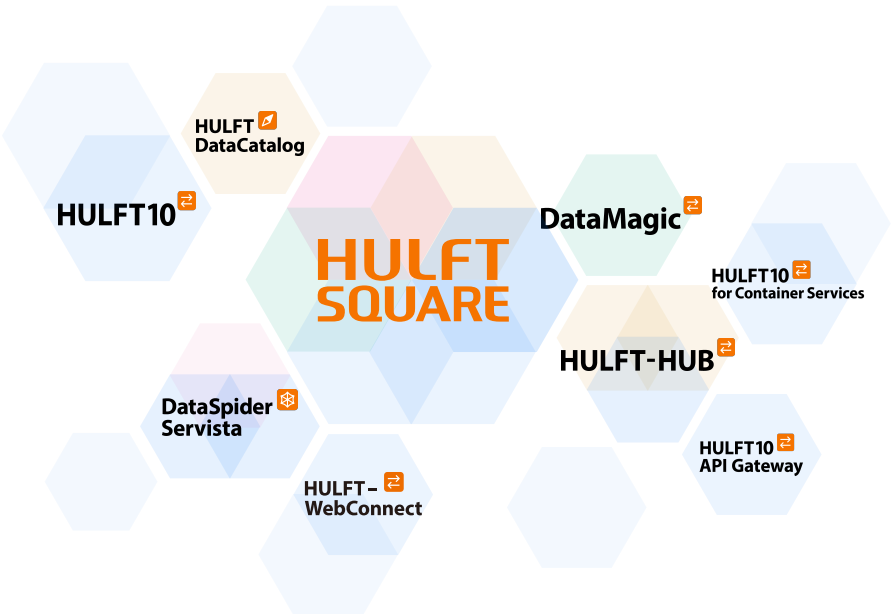
プロダクト

お客様環境のOSやデータ形式、プロトコル、システム基盤の違いを超え、さまざまなシステムをつなぐソリューションです。連携・変換・転送・可視化を担う道具として、流れの各所で効きます。

HULFTシリーズ 8製品

- HULFT Square
- Agent Orchestration
- HULFT10
- DataSpider Servista
- DataMagic
- HULFT-WebConnect
- HULFT DataCatalog
- HULFT-HUB

サービスとプロダクトを両方持つからこそ、課題に応じて支援の形を選べます



DATA INTEGRATION

分断されたシステムをつなぎ、データ活用の基盤を整える

オンプレミスやクラウドなど、異なる環境下のシステムをつなぎ、データの道筋をつくります。

システム・データの分断で、日々の業務が滞っていませんか

ISSUE 01
システムが分断し、データがサイロ化
必要な情報が
社内でバラバラです。

ISSUE 02
連携不足で機会を損失
顧客データ等がつながらず
打ち手が遅れます。

ISSUE 03
IT部門の対応待ちで停滞
連携・整備が
情シス頼みで進みません。

ISSUE 04
データ検索に時間がかかる
「あのデータはどこ？」で
本来の業務が圧迫されます。

提供内容

レガシーシステムからクラウドまで規模を問わず効率的に連携
データ活用のトータル支援も可能です

01 開発から運用まで

プログラミング不要のツール活用で、開発からお客様自身での運用まで支援します。ファイルの自動更新やログ管理も最適に設定・実装します。

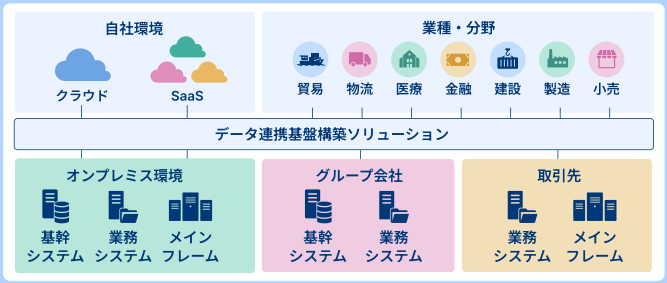
02 連携できる相手

レガシー・クラウド・SaaSをつなぎます。SAP S/4HANA・Salesforce・Concurといった主要クラウドサービスとの連携開発実績も豊富です。

03 エンジニアが伴走

企画・検討から導入・運用・障害対応・基盤拡張まで。運用経験を持つ人材がいない、リソースを割けないお客様も安心です。

システム・データの連携で
大幅な業務削減とミス防止に



POINT 01
異なるシステム間のデータ連携・加工が、
リアルタイムで行えます。

POINT 02
手作業での処理や人的な確認の手間を、
大幅に削減できます。

POINT 03
手作業による送付遅延やミスがなくなり、
リスクと手間を減らせます。

POINT 04
システム間で運用ルールや操作性が統一され、
引き継ぎも簡単になります。

DATA INTEGRATION

業務ごとに、分断されたデータを統合する

基盤が整えば、業務ごとの連携が進みます。ここでは、よくある3つの領域から紹介します。

01 基幹システム／ERP連携基盤

基幹システムと多様なSaaSを柔軟につなぐ「コンポーザブル」「モダナイゼーション」を総称したオフロードの考え方で、しなやかな基盤づくりを支援します。技術パートナーと共同開発した専用コネクターで、ノンプログラミングで連携。開発から運用保守までワンストップで、安心してコア業務に集中できます。

HULFT Square…p.13／DataSpider Servista…p.18

02 SaaS連携基盤

SFA・MA・HRクラウドサービスなど、業務ごとに散在するSaaSのデータをつなぎ、可視化・統合することで、営業戦略の立案や戦略的な人材配置を後押しします。豊富なアダプタで主要なCRM・HRクラウドサービスに接続できるため、既に使用しているシステムを刷新する必要もありません。設計から運用までワンストップで支援します。

HULFT Square…p.13／DataSpider Servista…p.18

03 ファイル連携基盤

30年以上にわたりファイル転送のデファクトスタンダードとして信頼されてきた「HULFT」を中核に、安全・確実に自動化されたデータ連携を実現します。ミッションクリティカルな業務を「止めない」基盤として、国内外のエンタープライズ企業に選ばれています。

HULFT10…p.16／HULFT-HUB…p.23

つながるSaaS

HULFT Squareを共通の連携基盤に
国産SaaSと疎結合でつなぎます

ERPの周辺機能をオフロードし、ERPをクリーンコアに保ったまま、業務に最適なSaaSを選べます。
各SaaSとの連携テンプレートを用意しているのでゼロからつくらず、すぐに始められます。

帳票・データ活用

ウイングアーク1st
- SVF
- Dr.Sum
- MotionBoard

ワークフロー

エイトレッド
- AgileWorks
- X-point Cloud

業務システム開発

サイボウズ
- kintone

DATA INTEGRATION

つないだ先で生かし、自社で回せるように

「重要な判断が勘頼みになり、全社共通の判断軸がない」「開発ノウハウが社内に蓄積されず、自社で改善を回せない」。つないだデータをどう生かすか、自社で改善を続けられる仕組みづくりをサポートします。

データ活用基盤は、散在するデータを「資産」に変えて企業の成長を加速させる

社内に点在する膨大なデータを統合・可視化し、誰でもビジネスの意思決定ができる状態をつくります。各システム内のデータを収集・加工し、誰もが直感的に理解・分析できる形に整えます。

データ準備から分析・定着まで、活用の全プロセスを支援します。経験や勘に頼りがちだった意思決定が「客観的なデータにもとづくもの」に変わり、正確かつ戦略的な判断がスピーディーにできるようになります。

データ連携内製化支援は、ツールと人の両軸で「持続可能な内製化」を実現

市場の変化にいちはやく対応するため、システム開発の内製化を目指す企業が増えています。専門家によるデータ連携支援を通じ、お客様自身が継続的に開発・改善していける「自走化」の実現を支えます。

ノンプログラミングツールで開発のハードルを下げるほか、電子契約やワークフロー連携など、よく使う業務に沿った雛形（テンプレート）も用意しています。開発プロセスが簡略化されることでノウハウが社内に蓄積され、自社主導での継続的なシステム改善の基盤が生まれます。

属人化やベンダーロックインによるブラックボックス化を解消します。

自走化までのフロー

調査・分析	導入・開発	運用・保守	
デジタル化	データ連携	データ活用	お客様の内製化・自走化
• SaaS導入	• データ連携基盤構築 • iPaaS導入 • データ標準化支援 • データ基盤構築	• 生成AI導入支援 • データ分析 • データ蓄積基盤構築	

DATA INTEGRATION

社内外のさまざまなAI・データを、ワンプラットフォームで統合

社内外に散らばるバラバラのデータや乱立するAIをつなぎ、業務負担の削減や業務効率化、ビジネス成果の最大化を支える「AI活用」の基盤を整えます。

生成AIの導入で、こんな課題を感じていませんか

経営層

事業の成長につながらない

- PoCのまま止まってしまっている
- 導入までに時間がかかる

AI・DX推進部門

モデルの変化に追従できない

- ハルシネーションが懸念される
- データをつなぐのに手間がかかる

現場の実務担当

精度が低く実務で使えない

- 参照できるデータが限定されている
- 業務での使い方が分からない

IT部門

社内にAIがバラバラに乱立している

- 現場の依頼が多くて手が回らない
- データの整備に時間がかかる

SOLUTION

Agent Orchestration（AI業務実行基盤）が、バラバラのAI・データをつなぎ、業務を支える強い相棒になります。参照すべきデータ・ツールをAIエージェントが自律判断し、鮮度の高い情報を実務で生かせる状態にします。

AI活用サービスでできること

データ前処理・AI連携

AIが扱えるようデータを整備

データをAIが理解しやすい形式に自動で変換・統合し、高精度な回答に活用できる状態にします。

クイック分析チャットボット

データを対話的に分析

自然言語による指示だけで、誰でも簡単に必要なデータを分析できます。

インサイト発掘レポート

データからインサイトを発見

多角的な視点・多様な切り口からデータを自動で分析し、インサイトを発掘・整理できます。

AIエージェント活用

AIを実際の業務に組み込む

部門・業務ごとに専用のAIエージェントを設定し、問い合わせ対応や定型業務の実行までを任せられます。

どの方式が合うかで、製品を選ぶ

「どの方式が優れているか」ではなく、「自社の要件に何が合うか」。
求めるスピードと確実性で、まず現在地を探してください。

基本の連携方式

リアルタイム重視

確実性・バッチ重視

REST／SOAP	サービス連携	• DataSpider Servista • HULFT Square
RPC／CLI	プログラム連携	• HULFT10 • DataSpider Servista • HULFT Square
S3／NAS	ストレージ連携	• DataSpider Servista • HULFT10 • HULFT Square
HULFT／FTP	ファイル連携	• HULFT10 • HULFT Square • HULFT-WebConnect
RDBMS／DWH	DB連携	• DataSpider Servista • HULFT Square • DataMagic

＋

横断で足すレイヤー

変換	DataMagic	形式の壁を越える
運用	HULFT-HUB	複数HULFTを統合管理
活用	HULFT DataCatalog	データ資産を可視化
AI	Agent Orchestration	AI活用・自動化

5つの質問で、自社の要件を整理する

まずは自社の要件を整理します。以下の質問に「どちらに近いか」で答えてみてください。
多く当てはまる方が、検討する方式のヒントになります。

1つの方式で完結するケースは多くありません
大事なのは「製品」からでなく「要件」から考えることです

Q1 即時応答は必要？

- 必要 → サービス／プログラム連携
- バッチでよい → ファイル／ストレージ／DB連携

Q2 扱うデータ量は？

- 小〜中を高頻度 → サービス／メッセージ連携
- 大容量を一括 → ファイル／ストレージ／DB連携

Q3 システム間の結合度は？

- 密結合でよい → プログラム連携
- 疎結合を重視 → サービス／メッセージ／ファイル連携

Q4 確実性・再送制御は？

- 高い確実性 → メッセージ／ファイル連携
- アプリ側で制御 → プログラム／サービス連携

Q5 「活用基盤」に蓄積する？

- 蓄積・活用前提 → DB連携（DWH含む）
- 受け渡し中心 → 他方式が中心

＋

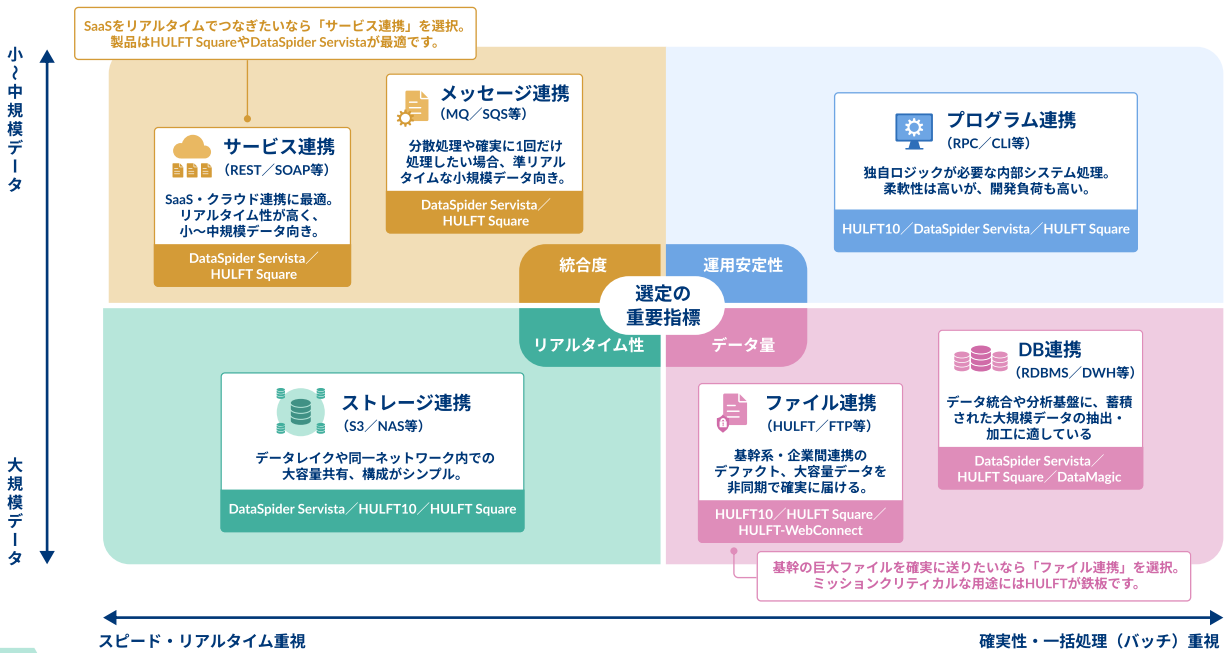
こんな課題があれば

形式・文字コードでデータが化ける	→ DataMagic
HULFT環境が増え、運用管理が煩雑	→ HULFT-HUB
どこに何のデータがあるか分からない	→ HULFT DataCatalog
分析・生成AIにデータを生かしたい	→ Agent Orchestration
社外とインターネット経由で安全に連携したい	→ HULFT-WebConnect
大容量ファイルを確実に届けたい	→ HULFT10

製品はどれがある？自社の課題はどれ？

まずは自社に近い課題を探し、該当する製品の詳細ページで仕様をご確認ください。

	製品	こんな課題に	役割	形態
連携で選ぶ方式で選ぶ	p. 13 HULFT Square	SaaS・クラウドを素早く	iPaaS統合連携	サービス型
	p. 16 HULFT10	基幹を確実に届ける	ファイル転送（MFT）	インストール型 サービス型
	p. 18 DataSpider Servista	業務間を柔軟に	ノーコード連携	インストール型
	p. 21 HULFT-WebConnect	インターネット経由で社外と安全に	拠点間・企業間連携	サービス型
横断で足す目的で重ねる	p. 15 Agent Orchestration	AI活用・自動化を進める	AI業務実行基盤	—
	p. 20 DataMagic	形式・コードの異種環境をつなぐ	データ変換	インストール型
	p. 22 HULFT DataCatalog	データの所在を可視化	データカタログ	インストール型
	p. 23 HULFT-HUB	たくさんのHULFTを一元管理	統合運用	インストール型



HULFT Square



日本発のクラウド型
データ連携プラットフォーム（iPaaS）

オンプレ・クラウド・SaaSに散らばるデータを、ブラウザ上のアイコン操作だけで連携・加工。
業務システムの連携はもちろん、生成AIやBIに使える形へ整える「データ活用のためのデータ準備」まで、専門知識なしで実現します。

導入メリット

ISSUE 01
データがオンプレ・クラウド・SaaSに散在

どこにあってもブラウザ上で連携できる

150を超える接続先に対応し、環境をまたいで横断で連携・加工。
「別のシステムだから」と諦めていた連携が、つながります。

ISSUE 02
連携開発が情シス頼みで手が回らない

業務の変化にすばやく対応

画面上のアイコンを選ぶだけで設定でき、現場が自分たちで連携をつくれる。業務の変化にすばやく対応し、要望にすぐ応えられます。

ISSUE 03
生成AIに使える形にデータが整っていない

AIが使えるデータに整う

社内の多様なデータをAIに適した形で統合。
根拠ある回答を支え、ハルシネーションを避けて実務で使えます。

選ばれる理由

連携性

オンプレミス・クラウド・SaaSに散在するデータを、ブラウザ上のiPaaSで横断して連携・加工します。

簡易性

データ統合の方法・フロー・条件、運用管理まで、画面上のアイコン操作だけで完結。専門知識不要で連携をつくれます。

安全性

通信経路・データの暗号化、アクセス制限、実行ログの自動記録で安全性を確保します。クラウド型で運用保守の負担も軽減します。

つながる資産
App Square（連携スクリプトを再利用）／HULFT アプリケーション（ファイル連携ミドルウェア「HULFT」とも連携）。ゼロからつくらず、既存の資産を生かして始められます。

150を超える接続先に対応

専用コネクターが用意された接続先には、最小限の設定でかんたんに連携できます。
ファイルから基幹DB、主要クラウド、SaaSまで。お使いのサービスが、きっと見つかります。
電子契約・タレントマネジメント・マーケティングなどの主要SaaSとも、連携テンプレートを用意しています。

DB
- Oracle
- SQL Server
- Snowflake
- BigQuery　ほか

SaaS
- Salesforce
- kintone
- SAP S/4HANA
- Box　ほか

CLOUD
- AWS
- Azure
- Google Cloud

FILE／NW
- ファイル
- ネットワーク
- メール（App Square・HULFT アプリケーションも含む）

電子契約
- クラウドサイン
- DocuSign eSignature
- GMOサイン

タレントマネジメント
- HRBrain
- カオナビ
- SmartHR

マーケティング
- Adobe Marketo Engage
- SHANON MARKETING PLATFORM

信頼

日本発のクラウド型データ連携プラットフォームです。30年以上ファイル連携を支えてきたHULFTの提供元（株式会社セゾンテクノロジー）がつくり、日本語でサポートします。新しいサービスですが、支えてきた実績は新しくありません。通信・データの暗号化、アクセス制限、実行ログ、運用監視Plusで運用も守ります。

導入から内製化まで、専門家が伴走します

評価検証 / 初期構築 / 標準化
内製支援 / 運用監視 / 運用相談

プロジェクトの全フェーズで、データ連携の専門家が並走します。
「自分たちでつくれる」を、一人にしません。

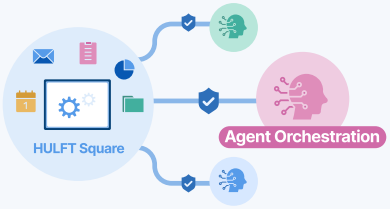
ハンズオンセミナーや無料相談で、アイコン操作だけの連携づくりを体験できます
一部の連携から始め、成果を見ながら段階的に広げられます

料金

※価格は月額・税抜です。Starterから始めて、必要に応じて段階的に拡張できます。

STARTERプラン	STANDARDプラン	ENTERPRISEプラン	AI-Startパック
48万円～	68万円～	120万円～	68万円～
17コネクター	20コネクター	23コネクター	20コネクター（Agent Orchestration付き）

Agent Orchestration



AIを、ツールから業務基盤へ

社内データと業務プロセスをつなぎ、生成AI・AIエージェントを企業の運用に載せる「AI業務実行基盤」です。
HULFT Squareのプランの一部として提供されます（HULFT Squareが前提です）。

導入メリット

ISSUE 01
生成AIに社内データを安全に使わせられない

アクセス制御を保ったまま、社内データをAI活用
これまで持ち出せなかった社内の資料やデータを、いまの権限設定のまま、AIへの問いかけで引き出せるようになります。

ISSUE 02
部門ごとにAIが乱立して統制できない

部門・用途ごとに作って一元管理（乱立を防ぐ）
部署ごとに立ち上がっていたAIが、1つの画面の上に並びます。うまくいった使い方は、他の部門も画面で選ぶだけで使えます。

ISSUE 03
AIのコスト・利用状況が見えず、運用が続かない

利用状況・コストを可視化（ガバナンス）
誰が、どのモデルを、どれだけ使ったかが数字で見えるため、続けるか見直すかを判断できます。

選ばれる理由

社内データを安全にAI活用
HULFT Squareと連携し、マニュアル・業務資料などのデータを参照させながら、アクセス制御を保ったまま回答・処理します。

部門ごとのAI活用を一元管理
部門・ユースケースごとにAIエージェントを作成し、利用モデル・ドキュメント・実行アクションを画面から設定。利用者は必要なエージェントを選ぶだけです。

ガバナンスとコストを最適化
契約中の生成AIモデルを登録し、エージェントごとに用途・コスト・セキュリティで使い分け。利用状況やコストを可視化して、効率的な運用を支えます。

4機能とつなぐ相手

4機能	AIエージェント／関連ドキュメント／アクション／モデルプロバイダー
つなぐ相手	HULFT Square／社内DB／外部サービス／各社生成AIモデル
料金	AI-Startパック標準装備（月額68万円～・税抜）／Standard・Enterpriseはアドオン（月額20万円～・税抜）
対応モデル	Amazon Bedrock対応

活用シーン

社内問い合わせ対応／売上・業績分析の支援／申請・承認の効率化／定型業務の自動実行。
AIに渡すデータを整えるのがHULFT DataCatalog、渡した先を統制するのがAgent Orchestrationです。

HULFT10



国内シェアNo.1の
ファイル連携ミドルウェア

オンプレからクラウドまで、異なるシステム間のファイル連携を安全かつ確実に。
止めてはいけない基幹連携の確実さはそのままに、クラウドへ、速く、安全に—土台ごと底上げします。

導入メリット

ISSUE 01
クラウド化・コンテナ化への追従が不安

オンプレもクラウドもコンテナも、同じ仕組みで連携できる
オンプレミスと同じ仕組みでコンテナ環境にも対応することで、環境が増えても接続設定を作り直したり、運用方法を新たに覚え直したりする必要がなくなります。

ISSUE 02
大容量の転送に時間がかかる

大容量・大量ファイルも、もっと速く送れる
新しい圧縮方式で転送を高速化・軽量化することで、転送のための特別な時間枠やサーバー増強を用意しなくても、大容量データを日常業務の中で扱えます。

ISSUE 03
セキュリティ・コンプライアンスの要件が厳しい

重要データを、基準を満たして安全に送れる
第三者認証済みの暗号方式を標準で備えることで、自社で暗号方式を開発・検証しなくても、監査の場で基準を満たしていると説明できます。

選ばれる理由

一貫性
オンプレミスからクラウド・コンテナまで同じHULFTで連携。Amazon ECS／Red Hat OpenShiftに対応し、REST APIで運用監視・転送制御ができます。

効率性
オープン系では新圧縮方式であるZstandardを採用し、転送速度が従来比の約1.4倍に。z/OSではzEDCを採用し、転送速度約5倍・CPU使用率を70%削減します（※）。

安全性
FIPS140-2を取得したHULFT Cipher Option（AES）で暗号化。ファイルIDごとの秘密キー方式にも対応し、PCI DSS v4.0準拠を支援します。

※当社測定による参考値。Zstandardの転送速度はHULFT8との比較（2024年7月時点）。zEDCの数値はz/OS環境での当社測定。実際の性能は環境により異なります。

土台にあるもの
これらの強化はすべて、HULFTが長年培ってきた「欠かさず、確実に届ける」という土台の上にあります。
速さや広がりが進化しても、その根底にある信頼は変わりません。

どんな環境でも、同じHULFTで

オンプレの主要OSからクラウド・コンテナまで、どんな環境でも同じHULFTで連携できます。
基幹を止めないための備えと、増えた環境をまとめて運用する仕組みがそろっています。

OS

- Windows
- Linux
- AIX
- IBM i
- z/OS

CONTAINER

- HULFT10 for Container Services (Amazon ECS)
- HULFT10 for Container Platform (Red Hat OpenShift)

LINEUP

HULFT10 API Gateway
REST API・Web画面で複数HULFTを統合管理

HULFT10 Manager
LAN内の複数HULFT管理情報を管理

HULFT Cipher Option
暗号化

Cloud Storage Option
クラウドストレージ連携

認定・準拠

- AWS Qualified Software
- Red Hat OpenShift Operator認定

選ぶときの目安

環境から選ぶ

オンプレの基幹を確実につなぎたい	→ 基本製品
クラウド・コンテナ中心で使いたい	→ HULFT10 for Container Services (Amazon ECS) HULFT10 for Container Platform (Red Hat OpenShift)
複数のHULFTをまとめて運用したい	→ HULFT10 API Gateway／Manager

信頼

ファイル連携ツール 国内シェア
23年連続 No.1 ※

世界での導入社数
12,000 社以上
※2026年3月時点
業種：製造・流通・小売・金融・公共

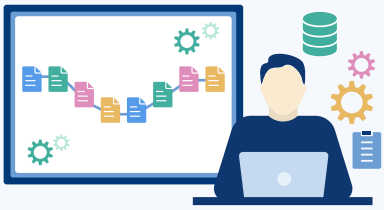
※株式会社富士キメラ総研「2004-2010パッケージソリューション・マーケティング便覧」「ソフトウェアビジネス新市場2011-2026年版」
＜ファイル転送ツール パッケージ・金額ベース・ベンダーシェア＞2003年度実績～2025年度実績（2023年度実績より現社名）

料金

具体的な料金については、詳細な内容を確認したうえでお見積りいたします。

価格表お申し込み

DataSpider Servista



データ連携ミドルウェア
ノンプログラミングで、素早くかんたんに

画面上のアイコンをつなぐ操作だけで、システムやサービスを連携できるデータ連携ミドルウェアです。
大容量かつ複雑な連携も、ノンプログラミングで素早くかんたんに。50種類以上のサービスに接続アダプタで標準対応します。

導入メリット

ISSUE 01
システムをまたぐ転記・集計を人手で繰り返している

情報連携の自動化で、手作業を削減できる
システム間のやりとりを自動化することで、手作業での転記や確認がなくなり、担当者は例外対応など判断が必要な業務に集中できます。

ISSUE 02
必要な情報が複数のシステムやファイルに分かれている

散在した情報が整理・可視化され、すぐに使える
分かれていたデータを集めて必要な形に整え、可視化します。複数のシステムで情報を探す時間や突き合わせの手間がなくなります。

ISSUE 03
連携の手順が特定の担当者に閉じ引き継ぎや変更が難しい

直感的に操作できるから、特定の人に頼らず進められる
画面でアイコンをつなぐだけで連携の仕組みをつくれ、処理が図に残ります。引き継ぎ資料を一から作成する必要がなくなり、誰でも操作できるようになります。

選ばれる理由

柔軟性
豊富な接続先や多彩な変換・処理機能で、既存システムを生かしながら最適な形でのデータ連携を実現します。

安定性
大量データの処理や定期実行など、日々の業務を支える安定したデータ連携基盤を提供します。

持続性
作った処理は仕様書として出力でき、引き継ぎや変更時の確認に使えます。充実したサポートや学習コンテンツとあわせ、運用・改善まで継続的に支援します。

50種類以上の接続アダプタ

50種類以上のサービスに接続アダプタで標準対応。専用アダプタがない相手ともAPIで連携できます。
8カテゴリーで守備範囲を見渡せます。

CATEGORY

- クラウド
- データベース
- ファイル
- アプリケーション
- ネットワーク
- ディレクトリサービス
- ビッグデータ
- HULFT

代表アダプタ

- Salesforce
- SAP
- AWS
- Azure
- Google Cloud
- kintone
- Snowflake
- Oracle

ほか

活用シーン

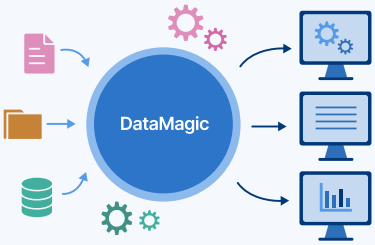
データ連携基盤	社内に分かれて存在する複数システムを1つにつなぎ、データが行き来する土台をつくる。
クラウド連携	SaaSやクラウドサービスとのデータのやりとりを、追加開発なしで実現する。
データ活用	分析や可視化にそのまま使えるよう、必要なデータを集めて整える。
IoT連携	機器やセンサーから絶えず集まるデータの受け渡しに。

料金

※価格は税抜です。いずれも目安で、必要な機能や規模で変わります。年間サポート費用（ライセンス価格の20%）が初年度から必要です。
※詳しい違いや自社環境向けの見積りはお問い合わせください。評価版で試せます。

Basic Server Package	360万円～ 標準実装アダプタ：12種
Advanced Server Package	610万円～ 標準実装アダプタ：24種
月額ライセンス＆サポート	20万円／月～
年間サポート費用	ライセンス価格の20%が初年度から必要

DataMagic



データ加工・データ変換ツール

システムごとに違うデータの形式や文字コードを変換し、相手がそのまま読める形に整えるトランスレーターです。
「早い・安い・簡単」の3拍子で、システム間の受け渡しを支えます。

導入メリット

ISSUE 01
システムごとに形式や文字コードが違い、そのままでは受け渡せない

形式が違うデータを、そのまま渡せる

文字コードやデータ形式の違いを吸収することで、受け渡すたびに「相手が読めるか」を心配したり、個別に変換方法を確認したりする必要がなくなります。

ISSUE 02
受け渡しのたびに個別のプログラムを開発・保守している

変換のたびの開発が、いらなくなる

シンプルなGUIの設定だけで変換処理を組み立てられ、開発と保守の負担が軽くなります。Windows版は導入しやすい価格帯です。

ISSUE 03
大容量データの変換に時間がかかり多言語データも扱いにくい

大量でも速く、海外拠点のデータもそのままやりとりできる

高速な変換エンジンと多言語対応の画面で、大容量データの変換待ちによる業務停滞や、海外拠点向けに別の仕組みを用意する必要がなくなります。

選ばれる理由

拡張性

HULFTのファイル転送前後に発生する変換作業を引き受け、DB接続オプションでDBを含む形式にも対象を広げられます。

保守性

設定した変換処理を仕様書として出力できます。引き継ぎや保守時の確認に使えるため、担当者が変わっても設定内容を追えます。

経済性

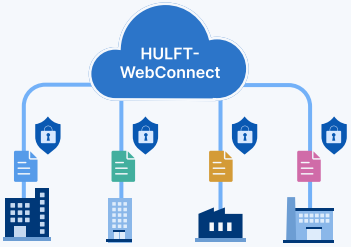
Windows版は手が届きやすい価格で導入できます。専門の開発体制がなくても着手でき、費用と学習の両面で始めやすくなっています。

対応する文字コードとデータ形式

文字コード	SJIS／EUC／JEF／KEIS／IBM／NEC漢字／UTF-16／UTF-8／JIS
データ形式	固定フォーマット／CSV／XML／階層フォーマット／DBテーブル／Excel／テキスト

※主なものを掲載しています。1バイトコードを含む全16種の文字コードと、マルチフォーマットを含む全8種のデータ形式に対応します。

HULFT-WebConnect



インターネットファイル転送サービス

専用線やVPNを用意しなくても、インターネット経由でHULFTと同等の安全なファイル転送を実現するクラウドサービスです。拠点間・取引先・クラウドとの連携基盤を、簡単・低コスト・スピーディーに立ち上げます。

※ご利用の前提：集配信のどちらか一方にHULFTが導入されている必要があります（相手側はD-Client等でも接続できます）。

導入メリット

ISSUE 01

拠点間や取引先との連携に専用線・VPNが必要で、契約も工事もコストもかさむ

回線を用意せず、すぐ低コストで始められる

インターネット環境があれば連携を始められるため、回線の契約や工事の手配、その費用や日数を確保する必要がなくなります。

ISSUE 02

拠点ごとの環境構築やセキュリティ確保が難しく、担当者のスキル差もある

配って使うだけ、拠点のスキル差も気にならない

管理者側で設定を済ませておけるため、拠点ごとに構築の知識を持ったスタッフをそろえる必要はありません。

ISSUE 03

経路上の情報漏えいが心配で踏み切れない

インターネット経由でも、安全に使える

外部から接続できる窓口を作らずに連携するため、インターネット経由の安全性を個別に検証したり、社内で説明資料を作ったりする手間が省けます。

選ばれる理由

即時性

専用線やVPNの工事・契約が不要で、インターネット環境があればすぐに始められます。Agentが最寄りのアクセスポイントを自動で探し、転送の効率を高めます。

利便性

管理者が転送設定を準備すれば、利用者は専用クライアントを入れるだけ。ブラウザ転送・Web API・CLIも用意され、連携処理の自動化まで実現できます。

安全性

外部接続用のポートを開けず、常時TLS暗号化のオンメモリ中継で安全に連携。AWS認定ソフトウェアも取得済みです。

接続手段とつなぐ相手

- 接続手段 → Agent／専用クライアント（D-Client）／CLI・API／Webブラウザ
- つなぐ相手 → 自社の拠点間／取引先と自社／クラウドサービス
- 安全性 → オンメモリ中継／常時TLS／AWS認定／HULFT同等

HULFT DataCatalog



メタデータ管理製品
データを「探せる・分かる・使える」資産へ

社内に散在するデータをカタログ化し、検索・理解・活用を支えるメタデータ管理製品です。
欲しいデータをWeb検索の感覚で見つけ、中身と来歴を確かめ、詳しい人に聞かなくても自分で選んで使えるようになります。

導入メリット

ISSUE 01
どこに何のデータがあるか分からない

探し回る時間が、大きく減る
散らばったデータを自動で集めて整理することで、探すたびに部門をまたいで問い合わせて回る必要がなくなります。

ISSUE 02
データの意味や信頼性が分からない

使ってよいかが、一目で分かる
データの生成元から来歴までを可視化することで、使ってよいかを都度担当者に確認しなくても自分で判断できるようになります。

ISSUE 03
データの意味が担当者しか分からず、属人化している

詳しい人に頼らず、自分で選べる
用語や意味をナレッジとして蓄積することで、詳しい人が異動・休職しても、業務が止まらず引き継げます。

選ばれる理由

検索性
収集したデータを整理・分類し、検索エンジンのように見やすく表示。同義語・類語・関連語も検索でき、検索にかかる時間を削減します。

透明性
データの来歴や関係性を可視化する「データリネージュ」機能で、どこで作られ、誰が管理しているデータかをたどれます。

継続性
収集したデータの意味や使い方を誰でも閲覧・編集できるナレッジ機能を搭載。知見が積み重なっていき、情報の鮮度が保たれます。

対応範囲

JDBC対応で社内の多くのDBをカタログ化の対象に

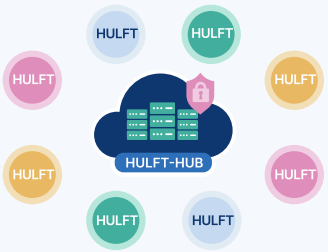
DataSpider Servistaと連携し、見つけたデータをそのまま活用・分析に使えます。

活用シーン

データの所在確認／生成AIに渡せるデータと渡せないデータの選別／用語・コードの意味共有／全社のデータ共有

AIに渡すデータを整えるのがHULFT DataCatalog、渡した先を統制するのがAgent Orchestrationです。

HULFT-HUB



HULFTを一元管理・運用する統合基盤

「データ連携の中継ハブ」として、社内システムやクラウドサービスに散在するファイルデータを確実かつ柔軟につなぎます。
大規模なHULFT環境を持つ企業向けの、統合運用基盤です。

導入メリット

ISSUE 01
HULFTの数が増え、どこで何が動いているか把握できない

複数のHULFTの動きが一画面で分かる

1対1の連携がメッシュ状に広がっていても、転送の稼働状況を一覧画面から可視化できます。

ISSUE 02
拠点や取引先と直接連携すると、基幹システムが外部から狙われやすい

基幹システムを、外部の攻撃から守る

HULFT-HUBが通信を手前で受け止めるため、外部から基幹システムへ直接アクセスできる経路を作らずに済みます。

ISSUE 03
受信先のシステム停止が、そのまま業務の停止につながる

受信先が止まっても、自動で送り届ける

複数の宛先へ自動で同時配信することで、障害発生時に手動で経路を切り替えたり、拠点ごとに個別のDR対策を組んだりする必要がなくなります。

選ばれる理由

一覧性

すべてのHULFTの環境・稼働状況・転送状況を、管理画面から一括で把握できます。

互換性

最新バージョンのHULFT10に正式対応。同一の圧縮方式（Zstandard）で転送効率もそろいます。

保全性

システム障害に備えてデータを蓄積し、再送やDRサイトへの退避をHULFT-HUB側の設定だけで実現します。

活用シーン

HULFT運用管理のさらなる最適化・自動化

セキュアかつスピーディな転送	HULFTの増減ごとのファイアウォール設定変更が不要に。中間ファイルを生成せずデータが通過し、転送時間も大幅に短縮できます。
障害・災害時にデータを保全	障害時は転送データをHULFT-HUB上に蓄積し、復旧後に速やかに再配信。設定や重要データはレプリケーション機能で保全します。
データ加工を1つに集約	拠点ごとに行っていた加工を一括・集中処理して運用負荷を軽減。ジョブフローで自動化し、途中からの処理再開もできます。

データ活用のさまざまな課題を解決し企業の組織力・競争力を高める

クラウド化・SaaS導入でデータは蓄積される一方、活用には障壁があります。
それを解決し、企業の組織力・競争力を高める。それが私たちの役割です。

データ活用のさまざまな課題

ISSUE 01

加工に時間がかかる

分析前の加工に時間がかかり、重要な意思決定が遅れます。

ISSUE 02

共有が的確でない

顧客情報が的確に共有されず、対応にばらつきが出ます。

ISSUE 03

属人化

管理・運用が属人化し、全社的なデータ活用が進みません。

セゾンテクノロジーが選ばれる理由

POINT 01

圧倒的な実績により育まれた製品力でお客様の多様なニーズに対応

1993年のHULFT提供以来30年以上、あらゆる業界のデータ連携を支えてきました。ファイル連携で23年連続 国内シェアNo.1、累計出荷25万本以上、世界12,000社以上の導入実績があります。

POINT 02

お客様が抱えるデータの悩みをワンストップで解決

「データ連携」の専業ベンダーとして、HULFTをはじめ各製品の販売・導入基盤の構築・運用支援までワンストップで。高い製品力と長年の実績で、お客様の状況に応じて支援します。

POINT 03

お客様のAI活用・内製化を支援しコスト削減や迅速な意思決定を実現

社内外に散在するデータの収集から前処理までを担い、AIが使える状態に整えます。ノーコードツールと専門家の伴走で内製化も支援し、コスト削減と迅速な意思決定につなげます。

この製品力・支援体制・AI活用力の3つが、基幹システムと業務、AIをつなぐ、セゾンテクノロジーが選ばれる理由です。

安全性が高く信頼できる技術力と安心のサポート体制

HULFT提供
30年以上
1993年よりあらゆる業界の連携を支える

ファイル連携
国内シェア23年連続
No.1 ※

累計出荷
25万本以上
※2026年時点

世界での導入社数
12,000社以上
※2026年3月時点

※株式会社富士キメラ総研「2004-2010パッケージソリューション・マーケティング便覧」「ソフトウェアビジネス新市場2011-2026年版」
＜ファイル転送ツール パッケージ・金額ベース・ベンダーシェア＞2003年度実績～2025年度実績（2023年度実績より現社名）

国際標準ISO 27001で証明された情報セキュリティ体制

2003年の取得以来、製品機能からサポート対応のフローまで、あらゆる項目で高水準のセキュリティを維持しています。

二大クラウドアワード輩出が証明する高い技術力

Japan AWS Top Engineers／Jr. Champions、Google Cloud Partner Top Engineerが在籍し、二大クラウドのアワードを輩出しています。設計～運用を一気通貫で担い、マルチクラウド連携にも対応します。

導入前後も充実のサポート体制

無料のオンライン相談から設計・構築・導入・運用まで専門家が伴走します。日英テクニカルサポート、24時間365日対応の有償サポートデスクを用意し、HDI三つ星（HDI-Japan、2025年度）・一次問い合わせ時解決率96.2%（HULFT）・障害発生率0.09%を維持しています。

技術サポートのサービスレベル（2026年5月時点）

製品障害発生率
0.09%
※障害件数／出荷本数

リリース前のテスト実施数
20万項目

一次問い合わせ時解決率
96.2%
※HULFT製品

＼＼ 有償の技術サポートサービスに加入するメリット ／／

高いサービスレベルの技術支援
製品利用中の技術的なお問い合わせに専門の技術者が対応。製品インストール時からHULFTテクニカルサポートセンターを利用できます。

バージョンアップ版の提供
リビジョンアップ版・レベルアップ版を無償で利用可能。一部の製品は次期バージョンも無償で提供します。

グレードアップ版がお得に
OS変更に伴う書き換えや、グレードアップ版を特別価格で提供します。

※技術サポート契約は2025年4月1日以降、年額契約の自動更新に対応しています（対象：HULFT10・DataSpider Servista 5）。
※サービスレベルは目標数値であり、解決率を保証するものではありません。

導入事例　つなぐことから、成果が生まれています

金融・空運・情報通信。業種も規模も異なる現場で、課題から効果までを伺いました。

CASE 01　金融・証券×HULFT Square

これまで以上に現場から
相談を受けることができるように
なったことが何よりも大きい



データ利活用を加速させる
「HULFT Square」が金融DXの基盤を構築

クライアント業種：金融業

課題	統合DBにデータが集約しきれず、Excelでのデータ受け渡しが常態化。要望が寄せられても開発は外部パートナー依存で、コストや納期から断念するケースもありました。
決め手	サーバーの構築や保守が不要なiPaaSであること。既存のDataSpider Servistaと近いUIで、AWS・Google Cloudの専用コネクターにより柔軟に接続できること。
実施	新CRM、スマートフォンアプリ、Boxなどを統合DBへ集約するパイプラインを内製で構築し、月次・日次でデータを取得しています。
効果	開発期間 90日→1日／Excel集計 −82.5%／外部委託費 ゼロ。

CASE 02　空運×HULFT Square

リーズナブルかつ短期間で
効果を実感しやすく、
さらにカスタマーサクセスも手厚い



ファストシステム開発を推進し
データ連携基盤にかかわる開発コスト50%削減

クライアント業種：空運業

課題	業務領域ごとの既存基盤は重厚長大で専門知識を要し、開発・維持・管理に手間と費用がかかる品質重視型。やりたいことをすぐに実行できない状態でした。
決め手	SaaS・PaaS間の連携に特化したノーコード・ローコードであること。スピード感ある開発、低コストでのスモールスタート、高いカスタマイズ性。
実施	便情報を5分ごとにGoogleドライブへ自動格納する仕組みと、SFTPでSSIMファイルを1日4回受け渡すコードシェア便情報連携を構築しました。
効果	開発コスト −50%／構築期間 −50%／稼働工数 −40%。未経験のメンバーが2〜3か月でシステムを構築。

CASE 03　情報通信×HULFT10（コンテナ）

まるでフルマネージドな
サービスのようなイメージで
使っています



モダンなアーキテクチャで
約870万のNISA口座情報を安全に連携

クライアント業種：情報通信業

課題	金融機関向けに提供するクラウドサービスとのセキュアなファイル連携が必要。SFTP接続を想定していたところ、複数の金融機関からHULFTでの連携要望が寄せられました。
決め手	AWS上のコンテナで稼働し、Amazon S3へ直接ファイルを配信できること。CloudFormationテンプレートで環境が構築でき、属人化しないシンプルな仕組みであること。
実施	HULFT10 for Container ServicesをFargateで稼働させ、金融機関から受信したNISA口座残高情報をAmazon S3に格納。合算して税務署と金融機関へ送信しています。
効果	環境構築 約20分／新NISA口座の約3分の1がHULFTでの連携／運用負担なくフルマネージドのように活用。

活用事例　データをつなぐ、「働く」が変わる

お客様のビジネス変革を加速する、当社が提案するデータ活用例をご紹介します。

業種別・業務別ソリューション

業種別	金融／小売／自治体／流通／建設／不動産
業務別	情報システム／経理・財務／経営企画／人事／法務／購買／マーケティング／AIプロジェクトリーダー／オープンデータ活用／脱炭素・サステナビリティ

業種・用途別のユースケース

製造×基幹連携

止められない基幹のファイル連携を安定運用。

- HULFT10
- HULFT-HUB

流通・小売×クラウド連携

基幹とSaaSをノーコード連携し分断を解消。

- HULFT Square

金融×データ活用

分散したデータを連携し、探せる状態に。

- DataSpider Servista
- HULFT DataCatalog

自治体・公共×データ変換

制度や様式に合わせた変換を自動化し工数削減。

- DataMagic

拠点間×インターネット連携

専用線なしで拠点間の連携をインターネットへ移行。

- HULFT-WebConnect

AI活用（先行・PoC）

社内の問い合わせ対応をAIエージェントで効率化。

- Agent Orchestration

つなぐことから、データ活用とAIまで

まずはご相談ください。無料オンライン相談から、設計・構築・導入・運用まで、専門家が伴走します。

会社概要

会社名	株式会社セゾンテクノロジー（Saison Technology Co., Ltd.）
設立	1970年9月1日
資本金	13億6,768万7,500円
本社	東京都港区赤坂1-8-1 赤坂インターシティAIR 19F
ウェブサイト	www.saison-technology.com

会社・製品トップ
ウェブサイト

8製品の詳細資料
個別製品資料

要件が固まる前でも歓迎
無料オンライン相談

※HULFT、HULFT Square、DataSpider Servista その他関連製品は、株式会社セゾンテクノロジーの登録商標または商標です。
※その他の会社名、製品名、サービス名等は、各社の登録商標または商標です。

株式会社セゾンテクノロジー

〒107-0052 東京都港区赤坂1-8-1 赤坂インターシティAIR 19F ／ 西日本事業所（大阪）・中部事業所（名古屋）

www.saison-technology.com ／ 発行：2026年9月 第1版

© Saison Technology Co., Ltd.